

2011 年 9 月 11 日

秩父棒ノ峰

石出 崇(H25 卒)

【参加メンバー】

M3 石出・M2 岡本・C1 池邊・C1 堀江・C1 三輪

【コースタイム】

池袋駅 7:05 発快速急行～7:47 飯能駅 8:00～8:45 さわらびの湯バス停 9:00～9:25 白谷橋～10:45 岩茸石 10:50～11:15 権次入峠 11:20～11:50 棒ノ嶺 13:00～13:25 岩茸石～15:00 さわらびの湯

【本文】

地球温暖化の影響か、例年に増して暑さの厳しい 9 月、下級生達は試験オフシーズンということもあり、かなりの方々が参加してくれるだろうと期待できる。新歓も兼ねて手軽に避暑&沢登りができる山行はないかと地図とにらめっこしていたところ、秩父に手軽に行け、かつ丁度良い避暑ができる場所があると聞きつけ、あっさり行き先は決まった。

当日の天気は快晴、新一年生も 4 人でこれからスプラッシュを浴びながら登る、文字通りフレッシュな雰囲気の中でのスタートとなった。

一般向けのコースも途中通るためか、適度に風のある木漏れ日の中をしばしハイキングモードで登って行く。しばらくしてからメインの沢登りポイントへ到着。周囲の植物はピシッと一列に並び、滑らないようによく固定された踏み岩が洪水を横切っているというたっぷりの人口感が迎えたものの、参加者のほぼ半数が新一年生であり、前日が雨だったためか水量が多く、見た目のマイナスイオン効果も手伝い全員に爽やかな笑顔が見られた。安全にかつよく整備された道を和気藹々と一人一人登って行く。

そこを過ぎた後も雨上がりの登山道、大学生活に慣れ会話に弾みが付き始めた一年生と、そして資本力に差が否めない埼玉県と東京都とで管理の質が違うために荒れた杉林&管理された広葉樹に挟まれた趣深い登山道に感動しているうちにあっさり頂上に到着した。

標高が低い割に景色が良い頂上でしばしお昼休憩。道を下り始めた後、体力が有り余るある一年生が途中の切り立ったに登りたいと言い出した。それを写真に収め、会話が途切れないまま下山となった。このまま登山道途中の温泉に寄るかと思いきや、筆者はお肌が弱くアレルギー体質のため、当時代表でありながら辞退させて頂き、残る新一年生の堀江君を残し全員帰って行った。

しかし帰宅後夜、ふと携帯を見ると西武池袋線がかなり遅れているようで、しかも先に帰った我々と温泉に立ち寄った堀江君が帰京する間に人身事故が起こったらしく、代表として申し訳のない幕引きとなってしまった。